

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34102	図書館サービス概論 Introduction to Library Services	江良友子	✓	専門	2	選択	1、2前期

**科目の概要**

図書館サービスは、図書館の機能を具体的な形で実践する活動である（基礎知識の獲得・活用・応用）。生涯学習社会、高度情報化社会における図書館サービスはどうあるべきかを念頭に置きながら、その理念と歴史、理論と実際、現状と課題について学修する。真心・努力・奉仕・感謝の精神をもって図書館サービスを行うことの大切さを授業を通じて学修する。  
★教員が図書館司書として勤務した経験を活かして、実際のサービスに照らして授業を進める。図書館業務は、人と関わることが少ないように見えるが、実際はその逆で、人と接することが多く、あらゆる年齢層とコミュニケーションを取ることが求められる。授業では社会人基礎力を育成し、コミュニケーション能力を高めることの重要性を学んでいく。

学修内容	到達目標
① 図書館サービスの意義について知る。 ② 図書館サービスの種類について知る。 ③ 図書館サービスに伴う課題や問題点について理解する。 ④ 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて知る。 ⑤ 利用対象に応じたサービスの種類とその重要性について理解する。	① 図書館サービスの意義を言うことができる。 ② 図書館の各種サービスについて説明することができる。 ③ 図書館サービスを行う上での課題や問題点を述べるることができる。 ④ 利用者に対する接遇やコミュニケーションの重要性を説明できる。 ⑤ 利用対象別サービスの種類とその重要性を述べるることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	図書館サービスについて理解を深めるために、自ら進んで図書館へ足を運ぶことができる。
	働きかけ力	
	実行力	決められた期日までに手順や方法を考えてレポート作成ができる。
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞を読み、図書館が話題となった記事を把握できている。
	計画力	
	創造力	学んだことを活かして、理想的な図書館サービスについて考えることができる。
チームで働く力	発信力	基本を踏まえたレポート作成ができている。
	傾聴力	人の話に耳を傾け、質問・感想等を言うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：「図書館情報学基礎資料」 2019年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,100円（税込）  
 講義用レジュメおよび追加資料を配付する。  
 必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。  
 参考文献：授業の中で紹介する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：図書館に関する科目全て  
 資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

日常的に図書館を利用すること。 図書館に対する興味・関心を広げると授業が理解しやすくなる。 図書館に関する各種報道に注意するとともに、図書館に関する様々な本や雑誌を読むこと。	6回以上の欠席は0（放棄）判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須である。必ず指定された期限までに提出すること。 授業で行く図書館見学に要する交通費は自己負担とする。
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	50	①	✓		レポート①：専門図書館見学から学んだこと 1500字以上 (25点) レポート②：県立図書館見学から学んだこと (県立図書館の役割を中心に) 1500字以上 (25点) 評価のポイント (表記・表現等) 各2点 ・字数制限が守られている。 ・誤字脱字がなく、正しい文章表現を用いている。 ・段落はじめの1字下げなど基本的なルールとレポートの基本書式を守っている ・口語やくだけた表現をしていない。「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。 ・情報源は信頼のおける適切なものを使用している。引用・参考文献を記載できている。 (内容) 各3点 ・テーマに合致した内容となっている。(基礎知識の獲得) ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。 ・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。 ・根拠(これまで学んできた基礎知識)をもとに、自分の考えを述べることができる(知識の活用)。 ・得た知識を基に課題解決へ向けての考え・道筋が明確に示されている(知識の応用)。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	40	①	✓		講義毎に全10回 課題を出す：指定した図書館について調べて提出する。(4点×10回) 0点→未提出、課題の勘違い・内容が意味不明 1点→インターネット情報をそのまま記入 2点→インターネットの情報以外に、或いはその他調べた情報も記載してあるが不十分 3点→インターネット情報のみではなくその他調べた情報も記載している。 4点→インターネット情報のみでなく、各種資料を使用してわかりやすく工夫され、整理されている		
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・自主的に図書館を利用している。 (実行力) ・決められた期日までにレポート・課題を提出できる。 (課題発見力) ・新聞に載った図書館関連の話題を言うことができる。 (創造力) ・授業で学んだことを活かして、自分が理想だと感じる図書館サービスをイメージし、表現できる。 (発信力) ・規定条件に合致したレポートを作成できる。 (傾聴力) ・授業及び、図書館見学先で説明を受ける際、メモを取るなどして真摯な態度で臨み、質問・感想を述べることができる。 (規律性) ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が45点以上である。 成果発表の評価の総計が36点以上である。 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。</p> <p>A (優) 評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が40点以上である。 成果発表の評価の総計が32点以上である。 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。</p>	<p>B (良) 評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が35点以上である。 成果発表の評価の総計が28点以上である。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。</p> <p>C (可) 評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が30点以上である。 成果発表の評価の総計が24点以上である。 社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 或いは、達成には至らないが努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 発表	これまで利用してきた学校図書館、公共図書館について、サービス内容や利用しやすさ、居心地などについてわかりやすく発表することができる。 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念を知ることができる	(第1週分予習) 自分がこれまで利用してきた学校図書館、公共図書館のサービス内容や利用しやすさ、居心地などについて2分程度で話せるようにしておく。 (復習) 図書館サービスの意義と目的をノートにまとめる (予習) ランガナンの図書館学の五法則(教科書p73)を読み、自分なりの解釈をノートにまとめる	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	図書館サービスの要素と機能 図書館サービスを形作る要素とサービスの機能について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 発表	図書館サービス内容について知り、各機能を理解する。	(課題) 岐阜市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 直接サービスと間接サービスについて、例をあげて説明をノートに書く。 (予習) 『中小都市における公共図書館の運営』(通称『中小レポート』)(1963年)を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	公共図書館サービスの歴史 日本における公共図書館サービスの変遷について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用) DVD「映像で見る戦後図書館のあゆみ」	講義 質疑応答 発表 DVD視聴	課題発表ができる 日本の公共図書館サービスの歴史を理解できている。	(課題) 名古屋市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) ビデオ「映像で見る戦後図書館のあゆみ」からわかった図書館の歴史についてノートにまとめる。 (予習) 閲覧・貸出・予約・リクエストとはどのようなものか辞典で調べ、ノートに書き出す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	資料提供サービス 1 資料提供サービス(閲覧・貸出・予約・リクエスト等)の概要について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 発表	課題発表ができる 閲覧・貸出・予約・リクエストについて、どのような業務か説明することができる。	(課題) 武雄市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 利用者にとって使いやすい施設と図書館職員にとって働きやすい施設はどのようなものか、授業で学んだことを踏まえてノートにまとめる。 (予習) 公共図書館がなぜ「無料貸本屋」と言われるのか、その理由を調べたうえで自分の考えを発表できるようにノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	資料提供サービス 2 資料提供サービスの詳細について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 発表	課題発表ができる レファレンスサービスとはどのようなものか、説明することができる。	(課題) 国立国会図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 貸出サービスをするうえでの注意点をまとめる。 (予習) 愛知学泉短期大学図書館の利用案内を入手する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	資料提供サービス 3 大学図書館の使い方を学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用) 担当教員指導内容 見学先担当者とともに、大学図書館の利用方法とデータベースの使い方について指導を行う。	講義 質疑応答 見学	大学図書館の使い方と利用可能なデータベースの種類と使い方をすることができる。	(課題) 自分が住んでいる自治体の図書館サービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 愛知学泉短期大学の図書館を使って、わかったことを用紙にまとめる(使いやすい点と改善点を中心に) (予習) 図書館の障害者サービス、高齢者サービス、多文化サービスとはどのようなものか、それぞれノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	利用対象別のサービス 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスについて学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用) ビデオ:「新しい文化創造をめざして:望まれる多文化サービス」	講義 質疑応答 発表 DVD視聴	課題発表ができる 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスについて理解し、説明することができる。	(課題) 武蔵野プレスの図書館サービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) ビデオ「新しい文化創造をめざして:望まれる多文化サービス」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館見学に先駆けて、社会福祉法人名古屋タイムハウス名古屋盲人情報文化センターのホームページをよく見て、施設の概略を知る。 『愛の点字図書館長』など、視覚障害者に關する本を読む。 その他関連する資料を探し、視覚障害者施設の特徴を調べる。 以上を中心に各自が視覚障害者や名古屋盲人情報文化センターについて調べ、質疑応答の中で1回は発言できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	視覚障がい者サービス 視覚障がい者サービスの実際について (基礎知識の獲得・活用・応用) (見学の引率) 担当教員指導内容 見学先担当者とともに、事前に依頼した見学内容について、これまで授業で学んだことを現場で確かめ、確認する。 学生に質問事項を促す。	専門図書館見学 質疑応答	障害者資料の種類、障害者サービスについて理解できている。	(見学課題) 専門図書館見学から学んだことについてレポートを作成する「視覚障害者施設と図書館サービス」(文字数1500字~上限なし) (予習) 課題解決型サービスとはどのようなものか、発表できるようにノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	課題解決支援サービス ビジネス支援、医療健康情報、法情報サービスなどについて学ぶ。(基礎知識の獲得・活用) DVD:「課題解決型サービス」	講義 質疑応答 発表 DVD視聴 第1回レポート提出	課題発表ができる。 代表的な課題解決型サービスについて説明することができる。	(課題) 東京都北区立中央図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) DVD「課題解決型サービス」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館と連携可能な機関をあげ、その機関と、どのような相互協力活動ができるか発表できるようにノートに記入する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	図書館協力和ネットワーク 図書館間、類縁機関、民間団体などとの協力・ネットワークについて学ぶ。(基礎知識の獲得・活用) ビデオ:「広がる図書館協力和連携」	講義 質疑応答 発表 DVD視聴 第1回レポートについてフィードバック	課題発表ができる。 図書館の連携先にはどのような機関があるか言うことができる。	(課題) 現代マンガ図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) ビデオ「広がる図書館協力和連携」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館見学に先駆けて、 ・「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(テキストp78-83)の都道府県立図書館について記載されている部分を読み、 ・愛知県図書館のホームページを見て、愛知県図書館の概略を知る。 ・『日本の図書館 統計と名簿』(日本図書館協会)を見て、他県の県立図書館と比較する。 その他関連する資料を探し、愛知県図書館の特色を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	図書館サービスの実際 公共図書館(県立図書館を予定)を見学し図書館サービスの実際を見る。(基礎知識の獲得・活用・応用) (見学の引率) 担当教員指導内容 見学先担当者とともに、事前に依頼した見学内容について、これまで授業で学んだことを現場で確かめ、確認する。 学生に質問事項を促す。	図書館見学 質疑応答	県立図書館の役割を理解できている。	(見学課題) 「愛知県図書館の県立図書館としての機能と役割」(文字数1500字以上)について。 (予習) 著作権法を読む。教科書p38-50	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	図書館サービスと著作権 図書館サービスの中での著作権との関係について学ぶ。(基礎知識の獲得・活用) DVD:「未来から来た兄妹～なぜ大切な?著作権～」	講義 質疑応答 発表 DVD視聴 第2回レポート提出	課題発表ができる。 図書館が著作権を守る意義を理解できている。	(課題) 矢祭もっていない図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 図書館が著作権を守る意義についてノートにまとめなさい (予習) 図書館の集会文化活動の目的を調べ、6点書く	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	図書館の集会文化活動 図書館の講演・講座、各種行事、展示などの集会文化活動について学ぶ。(基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 質疑応答 第2回レポートについてフィードバック グループワーク 調べてきた図書館の集会文化活動の内容を出し合い、「中核市規模の図書館で行うこと」を前提に実施案を検討する グループ討議メモ作成・提出 発表 話し合った内容をまとめて発表する	課題発表ができる。 協力してグループ討議できる。 討議内容をまとめて発表できる。 図書館で行われている講座にはどのようなものがあるか知ることができる	(課題) 北海道置戸町立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 図書館で行われている講座について、授業で学んだものも含め、解説をつける (予習) これまで行った場所で、最もホスピタリティがあると思う場所をあげ、その理由を書く	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	利用者に対する接遇・コミュニケーション 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて学ぶ。(基礎知識の獲得・活用) ビデオ:「コミュニケーション」	講義 質疑応答 発表 ビデオ視聴	課題発表ができる。 一般的な利用者への接遇方法が理解できている。 図書館におけるコミュニケーションの意味を理解することができる	(課題) 多摩美術大学図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する。 (復習) 接遇をするうえで重要な点を7つあげ、その理由を書く。 (予習) 『図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて』(2012年8月)を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	図書館サービスの測定と評価 図書館サービスの測定と評価の方法と考え方について学ぶ。(基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 質疑応答 発表	課題発表ができる 図書館サービスの測定と評価の方法を理解できている。	(復習) これまで学んだ図書館サービスについてプリントとレポートを見て、其々の図書館の特徴的なサービスにアンダーラインを引く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力